

自然と文化科 活動記録 (公開講演会)

日時	2025年3月21日(金) 10:00~15:00	担当者
場所	クロスパル高槻 午前:公開講演会 8階イベントホール 午後:各委員会、全体会議、班会議、運営委員会等	文:五家正敏 写真:岩崎優
備考	参加人数 1班19名 2班21名 3班18名 4班18名 外部5名	合計81名

公開講演会の概要は以下のとおりである。

- 講演のテーマ:「いまを生きるコツ -より良く生きるために-
- 講演者名:宝塚市立病院緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー
(退職) 沼野 尚美 先生
- 講演者略歴:大阪市生まれ、武庫川女子大学薬学部卒業
神学修士号、心理学・カウンセリング修士号取得
病院薬剤師から病院チャプレンとカウンセラーに転職



4. 講演要旨:

- 緩和ケア病棟(ホスピス)で終末期のがん患者さんとそのご家族の心のケアを40年前から担当されてきた。
- チャプレン(宗教的援助)とカウンセラー(心理的・精神的援助)として3千人以上の方々の生と死に関わり、今からの人生をどう生きたらよいのか、関係された多くの方々から受け取った大切なメッセージをご紹介いただいた。
- より良く生きるための5つのコツ
 - ・前向きに生きる
 - ・ユーモアを持って生きる
 - ・感謝して生きる
 - ・趣味を持って生きる
 - ・家族の絆を育てて生きる

主な著書:

- 「癒されて旅立ちたいーホスピスチャプレン物語」 俊成出版社 2002年
 「満足して死に逝く為にーホスピスチャプレンが見た「老い」の叫び」 俊成出版社 2013年
 「生と死を抱きしめてーホスピスのがん患者さんが教えてくれた生きる意味」 明石書店 2014年
 その他多数あり

講話 CD セレクション・ラジオ深夜便

「こころの危機に向き合う時」「生きるということ」 NHK サービスセンター

【所感】

2月の講演会に続いて、人生の終末に向けて今をどう生きるのかという課題を取り上げた講演会であった。(2月度「終活とは?ー縁起でもない時代から迷惑をかけたくない時代へー」) 全ての人が必要直面する課題であり、自分が極限意識状態になった時に今後の人生をどう生きたらよいのか、重く心の宿題として残った講演会であった。